

プログラム

11月19日(土) 13:20-14:20

座長 齊藤 賢一 (日本獣医生命科学大学)

[招待講演]

我が国における子どもの権利の現状と課題

- 生存・保護・発達の観点から見て -

正木 健雄 氏 (日本子どもを守る会会長)

11月20日(日) 11:00-12:00

座長 池永 訓昭 (金沢工業大学)

[講義講演]

地震前兆現象の把握を目指した挑戦

(大気イオン濃度の計測、動物の異常行動)

矢田 直之 氏 (神奈川工科大学)

[特 別 企 画]

11月19日(土)

14:50-16:20 セッション8 「3・11/東日本大震災と福島原発の問題」の検証

座長 橋新 裕一 (近畿大学)

(S-8) 福島第一原発の事故から学ぶ科学技術と文明のあり方について

大野 新一 (理論放射線研究所)

(S-8) フェルミのパラドックスと今

河原崎 雄紀 (フリーランス)

(S-8) 職場にプロフェッショナルを育てよう

橋谷 博 (環境評論家)

[一般演題]

11月19日(土)

10:20-10:50 セッション2 人間の視点と、人と物と自然の関係

座長 臼井 博明 (東京農工大学)

(S-2) 銅鏡出土古墳の年代別分布型とその銅腕出土比率の謎

服部 俊幸 (放射線医学総合研究所)

11:00-11:15 セッション4 人間生活と物質・材料・エネルギー

座長 服部 俊幸 (放射線医学総合研究所)

(S-4) イオンアシスト蒸着によるフッ素系高分子薄膜の作製

泉田 和夫、松田 剛、田中 邦明、臼井 博明 (東京農工大学)

11:15-11:30 セッション4 人間生活と物質・材料・エネルギー

座長 臼井 博明 (東京農工大学)

(S-4) 低速高電離イオンによる固体表面でのナノ構造形成

大橋 一隆 (電気通信大学)

11:30-12:00 セッション1 人間の生存にとって学問が意味するもの

座長 臼井 博明 (東京農工大学)

(S-1) 生存と科学技術文明と逃げの思考—大震災に見る生存の意志—

田野倉 敦 (NPO 八ヶ岳南麓)

16:30-17:00 セッション4 人間生活と物質・材料・エネルギー

座長 大野 新一 (理論放射線研究所)

(S-1) 液中プラズマを用いたナノカーボン微粒子の合成

竹井 日出夫、大竹 文人、池田 智、坂尾 洋介、佐藤 宗之
(アルバック株式会社 千葉超材料研究所)

11月20日(日)

9:30-10:55 セッション3 人間の生存にとっての21世紀の医学と医療

座長 橋新 裕一 (近畿大学)

(S-3) 抗ヒスタミン剤(Dexchlorpheniramine)投与によるマウス脳波の変化

増田 愛菜 1)、川上 康彦 2)、斉藤 賢一 1) (1:日本獣医生命科学大学食品健康環境学教室、 2:日本医科大学医学部小児科)

(S-3) 抗ヒスタミン剤(Periactin)がマウスの循環器と代謝系におよぼす影響

池崎 恵子 1)、川上 康彦 2)、斉藤 賢一 1) (1:日本獣医生命科学大学食品健康環境学教室、 2:日本医科大学医学部小児科)

(S-3) 振戦モデルマウスの開発と脳波の検討

増永 明穂、斉藤 賢一 (日本獣医生命科学大学食品健康環境学教室)

(S-3) 医療機器薬事規制における QMS 適合性調査の現況について (2) —購買管理サブシステムに関する不適合事例の検討—

津野 歩、宮本 裕一 (埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科)

11月20日(日)

13:30-14:10 セッション4 人間生活と物質・材料・エネルギー

座長 齊藤 賢一 (日本獣医生命科学大学)

(S-4) 安全・確実な治療を目指した施術者支援のためのレーザー打診法

橋新 裕一(1, 2)、佐野 秀(2)、小林 瞬(1) (1:近畿大学大学院総合理工学研究科
2:近畿大学理工学部電気電子工学科)

(S-4) スパッタリングと水熱合成を使った圧電デバイス用PZT薄膜の形成

恒川 裕介、長谷川 晶宏、池永 訓昭、岸 陽一、矢島 善次郎、作道 訓之、神田
岳文 (金沢工業大学)

14:20-14:50 セッション1 人間の生存にとって学問が意味するもの

座長 齊藤 賢一 (日本獣医生命科学大学)

(S-1) 教育現場における最高の実りを求めて III

大橋 一隆 (電気通信大学)

(S-1) 人類存続のための共同体についての考察

大橋 一隆 (電気通信大学)